

福岡事件との対比表（「7・13連絡会」作成）

【事故の態様】

	福岡事件	小樽事件 (報道による)	コメント
速度	時速100キロで走行。	時速50～60キロで走行。	小樽事件の現場の市道は、 小樽市が30キロ制限の注意喚起の看板を設置 するような狭い道路であり、本人の言い分通りの走行速度であったとしても、福岡事件と同等の「異常」な危険速度である。
道路状況	整備された幹線道路で幅員も広く、歩車道も分離されている。	幅員5mのかなり狭い道路で、歩車道の区分もセンターラインもない。	速度の点は、 道路状況との相関関係で判断すべき である。福岡事件は、歩道は、片側だけである。写真でみるかぎり、かなり広い歩道がある(したがって、横断歩行者は想定されない道路である。)。なお、福岡地裁判決では、現場では、夜間、高速走行する車両が少なくなく、100キロで走行することは「異常とまではいえない。」と判断していた。 他方、小樽事件の道路は、歩車道の区分もセンターラインもなく、幅員約5mと車両同士の交差がぎりぎりの狭い道路である。さらに、現場から約2.5km先に最寄りJR駅が在り、海水浴帰りの歩行者の存在が十分予測される日時であることからすると、 福岡事件と比べても「異常」であると評価できる。
前方不注意の時間	約8秒間	7～8秒	同等。
ブレーキ操作	衝突の1秒前にブレーキ操作をしている。	衝突するまで気付かなかった。	この点では、小樽事件のほうが 異常性が高い。
脇見の理由となる特段の事情	具体的に何を見ていたかはわからないが、脇見が原因である。(被告人の主張)	スマートフォンを操作していた脇見が原因である(被告人の主張)。	福岡事件の最高裁は「約8秒間もの長い間、 特段の理由もなく前方を見ないまま高速度走行して危険な運転を継続した ということ」を異常性の根拠として指摘している。小樽事件のスマートフォンの操作も、緊急性や必要性が全くない行為であり、狭い道路を極めて危険な高速度で走行している際に「前を見ない」ことの「特段の理由」とはいえず、むしろ、アルコールの影響により判断力や注意力が低下していることを示しており、福岡事件と特に変わらないように思われる。

【その他の状況】

飲酒検知	呼気1リットルあたり0.25～0.3mg	呼気1リットルあたり0.5～0.6mg	小樽事件の「飲酒検知は 福岡事件の2倍であり、酒気帯び(0.15mg)の3倍以上である。 また、前日に仕事が終わってから徹夜で12時間にわたり飲酒(新聞報道)しており、疲労や睡眠不足も含め、アルコールの影響は、より深刻であったと考えるのが常識的である。
飲酒の時間等	午後6時から午後10時30分頃	午前4時30分から午後4時頃	

事故後の行動	<p>停止して救護しない。 友人に電話して、水を持ってこさせて1リットル飲むなど、証拠隠滅工作をする。</p>	<p>停止して救護しない。 近くのコンビニエンスストアに停止して、110番通報した。</p>	<p>被害者の状況や、車両の損傷等を確かめずに、そのまま現場を去っている点は同様である。 福岡事件の最高裁で、大谷最高裁判事は「正常な判断能力があれば、被告人車両は大破しているのだから、まずは事故の状況を確認するはずであるのに、被告人はこれを全く確かめていない」「(したがって)むしろ、正常な判断能力が損なわれていたことを示す」と補足意見を述べている。</p>
事故前の運転状況	<p>6km、約8分間の運転をして現場にさしかかっており、その間、かなり狭い道路(2.7メートルほどの幅員)もあるが、問題なく通過している。</p>	<p>事故現場までの走行距離は1km未満と福岡事件よりもかなり短い。 現場まで事故を起こしていないことは同様。</p>	<p>福岡事件の最高裁で、大谷最高裁判事は、事故現場まで事故を起こさずに走行できていることを「過大に評価することは相当でない」と指摘し、重要なのは、あくまでも、事故が異常かどうかだ、としている。刑事裁判官としての経歴が長い大谷最高裁判事は、「約8秒間が脇見運転によるものかどうかについて判断が分かっているが、私としては、被告人がとにかく約1秒前まで被害車両を発見、認識していなかったことにこそ、本件事故当時の被告人の尋常でない心身の状態がうかがわれると考える」との意見を述べている。 この考え方からすると、小樽事件についても、事故前や事故後に、それなりに運転ができたからといって、それだけを過大評価して危険運転を否定すべきではない。</p>
目撃者の話	<p>事故前のスナック等での飲酒中、酒をこぼしたり、「酔うとります。」「今日は酔っ払っとるけん。」などと発言し、肘を膝の上において前かがみの姿勢になったりしていた。との目撃証言がある。</p>	<p>(どのような証言があるのか不明)</p>	<p>(不明だが、飲酒量等からもかなりの証言があるものと予想)</p>